水環境財　第２０２４１２号

2024年6月24 日

東京都中野区中野四丁目10番1号
公益財団法人
クリタ水･環境科学振興財団
理事長　中井　稔之

2023 年度(令和 6 年度) 事業報告書

Ⅰ. 第1号議案;2023年度　事業報告書(案)

Ⅱ. 第2号議案;2023年度　決算報告書(案)

Ⅲ. 事業･組織体系図

水環境財　第２０２４１２号

［ 目　次 ］

項　目	ﾍﾟｰｼﾞ
Ⅰ. 2023年度事業報告書	1
1. 研究助成事業	1
1－1. 研究助成事業	1
1－2. 水環境科学技術の普及事業	1
1－3. 水･環境ﾈｯﾄﾜｰｸ事業（ｸﾘﾀ水･環境科学研究優秀賞表彰）	1
2. 顕彰事業（日本水環境学会年会優秀発表賞（ｸﾘﾀ賞））	2
3. 国際交流支援事業（海外水･環境ﾈｯﾄﾜｰｸ活動支援事業）	2
4. 理事及び監事並びに評議員の報酬等の基準	2
5. 基本財産運用状況	2
Ⅱ. 2023年度決算報告書	3
1. 2023年度決算	3
2. 事業活動に関する数値のうち重要なもの	3
Ⅲ. 事業･組織体系図	4
･添付資料－1；2023年度研究助成応募および採択案件の総括	付－1
･添付資料－2；2023年度研究助成･国際会議助成案件ﾘｽﾄ	付－2
･添付資料－3；2023年度研究助成件数･助成金額およびこれまでの累計	付－3
･添付資料－4；2023年度顕彰事業受賞者一覧	付－4
･添付資料－5；理事及び監事並びに評議員の報酬等の基準について（公表）	付－5
･添付資料－6；2023年度貸借対照表および内訳表	付－6
･添付資料－7；2023年度正味財産増減計算書および内訳表	付－7
･添付資料－8；財産目録（2024年3月31日現在）	付－8
･添付資料－9；財務諸表に対する注記および附属明細書	付－9
･添付資料－10；2023年度監査報告書	付－10

自　２０２３年４月　１日
至　２０２４年３月３１日

Ⅰ．2023年度事業報告書

1．研究助成事業

1－1．研究助成事業

（1）公募

・国内およびアジアの国・公・私立大学、研究機関（民間団体・企業を除く）に所属する研究者を対象とした。なお、アジアについては、タイ、インドネシア、ベトナム、マレーシア、その他アジア諸国に分けて公募した。

・助成分野別応募件数

国内研究助成	自然科学・技術－1＆2	85件
	人文・社会科学	10件
	特別テーマ（水を究める）	8件
	萌芽的研究	62件
	継続助成	24件
	ネットワーク構築助成	8件
国際会議助成	会議開催・会議発表	6件
海外研究助成		681件
合計		884件

添付資料－1；2023年度研究助成応募および採択案件の総括

（2）選考

・第一次審査（1件に付き利害関係者を除く3名の選考委員による書類審査）を経て第二次審査（選考委員会）を行い、185件が採択された。

・助成件数、交付金額の内訳

国内研究助成　；　56件（交付金額　81,060千円）
国際会議助成　；　　4件（交付金額　　2,000千円）
海外研究助成　；125件（交付金額　50,000千円）

添付資料－2；2023年度研究助成・国際会議助成案件リスト
添付資料－3；2023年度研究助成件数・助成金額およびこれまでの累計

1－2．水環境科学技術の普及事業

（1）クリタ水・環境科学振興財団ニュースの発行

・財団事業活動状況、助成研究に関わる情報等を通して、水環境問題に取り組む研究者の情報交流の場作りを支援する目的で財団ニュース第21号を発行し、これまで助成を受けた研究者に配布した。

1－3．水・環境ネットワーク事業（クリタ水・環境科学研究優秀賞の表彰）

・クリタ水・環境科学研究優秀賞は、助成研究者のフォローの一環として優秀な研究成果を創出し社会貢献度の高い活動を行っている研究者を表彰するもので、2023年度は2019年度および2020年度の国内研究助成対象者の中から3名が受賞した。受賞者は、2023年8月25日の助成金贈呈式において表彰を受け、研究成果を発表した。概要を財団ニュース第21号に掲載公開し普及を図った。

・2024年度の表彰に向けて選考を行い、候補者3名を選出した。

2. 顕彰事業

（1）日本水環境学会に対して、年会優秀発表賞「クリタ賞」として2,000千円を拠出した。2023年度の年会は九州大学で開催され、16名が表彰された。

（2）環境科学会に対して、高校活動奨励賞「クリタ活動賞」、博士後期課程学生研究奨励賞「クリタ研究賞」として、600千円を拠出した。2023年度は、クリタ活動賞として2件、クリタ研究賞2件が選出された。

・添付資料－4 ： 2023年度 顕彰事業受賞者一覧

3. 国際交流支援事業（海外水・環境ネットワーク支援事業）

（1）CREEW（Center of Research for Environment, Energy and Water）への支援

・海外水・環境ネットワーク支援事業は、水・環境分野の科学技術の振興に関わる国際交流支援の一環として行う事業であり、昨年度に引き続きネパールの水・環境問題に取り組む現地のNPO法人CREEWの活動を支援した。

4. 理事及び監事並びに評議員の報酬等の基準

理事及び監事並びに評議員の報酬等の基準について、定款に基づいて公開資料を作成し、ホームページに掲載し公表している。詳細を添付資料－5に示す。

・添付資料－5 ： 理事及び監事並びに評議員の報酬等の基準について（公表）

5. 基本財産運用状況

2023年度基本財産運用については、適宜、資産運用委員会に諮り実施した。

基本財産内訳（2024 年 3 月 31 日現在）

普通預金	214,895,448 円
投資有価証券	2,724,582,973 円
合計	2,939,478,421 円

Ⅱ．2023年度決算報告書

自　２０２３年４月　１日
至　２０２４年３月３１日

1．2023年度決算

2023年度決算結果の概要を以下に示し、詳細を添付資料－6～9に示す。

(1)経常収益計　　：179,226,978円
(2)経常費用計　　：189,061,844円
(3)一般正味財産期首残高：　28,657,367円
(4)一般正味財産期末残高：　18,822,501円

・添付資料－6 ： 2023年度貸借対照表（2024年3月31日現在）
・添付資料－7 ： 2023年度正味財産増減計算書および内訳表
（2023年4月1日～2024年3月31日）
・添付資料－8 ： 財産目録（2024年3月31日現在）
・添付資料－9 ： 財務諸表に対する注記および附属明細書

2．事業活動に関する数値のうち重要なもの

(1)収支相償；△14,336,916円で収支相償を満たした。
（注）公益目的収入の額 161,406,978 円－公益目的費用の額 175,743,894 円
(2)公益目的事業比率；93.0.%
（注）比率計算：公益目的費用額／経常費用額＝[175,743,894 円／189,061,844 円]×100
(3)寄付を受けた財産の額：栗田工業グループ（89，000，000円）および個人（100，000円）
運用財産寄附金；　89,100,000円
(4)特定資産からの振替額；　21,000,000円
(5)金融資産の運用収入の額(利息収入)；　69,126,978円
(6)資産、負債及び正味財産の額　；　3,105,222,857円
(7)遊休財産額(一般正味財産期末残高)；　18,822,501円

3．2023年度監査報告書

2023年4月1日から2024年3月31日における当財団の会計および事業運営状況について当財団監事の監査を受け、「問題なし」との報告を受けた。
・添付資料－10 ： 2023年度監査報告書

Ⅲ．事業・組織体系図

事 務 所

所在地：
東京都中野区

- 公1：研究助成事業
  - 1－1．研究助成事業
  - 1－2．水環境科学技術 の普及事業
  - 1－3．水・環境ネットワーク事業
    （クリタ水・環境科学研究優秀賞表彰）
- 公2：顕彰事業 ── 日本水環境学会年会優秀発表賞（クリタ賞）表彰
  環境科学会クリタ研究賞、クリタ活動賞表彰
- 公3：国際交流支援事業 ── 水・環境ネットワーク事業
  （海外 水・環境ネットワーク活動支援事業）

以上

2023年度 研究助成応募および採択案件の総括

国内研究助成及び海外研究助成の応募件数は884件、申請金額は550,610千円であった。
公正かつ厳正な一次および二次審査を行った結果、下表のとおり、185件、助成金額133,060千円が採択された。
採択率は件数で20．9%、金額で24.2%となった。

項 目	応募件数・申請金額		採択件数・金額		採 択 率	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
	（件）	（千円）	（件）	（千円）	（%）	（%）
自然科学・技術－1	36	53,800	8	11,200	22.2%	20.8%
自然科学・技術－2	49	69,450	10	13,800	20.4%	19.9%
人文・社会科学	10	9,650	3	3,000	30.0%	31.1%
萌芽的研究	62	61,360	12	11,900	19.4%	19.4%
特別テーマ 「水を究める」研究	8	11,550	5	7,500	62.5%	64.9%
継続助成	24	30,650	15	18,660	62.5%	60.9%
国際会議開催	3	2,000	2	1,500	66.7%	75.0%
国際会議発表	3	750	2	500	66.7%	66.7%
ネットワーク構築助成	8	39,000	3	15,000	37.5%	38.5%
国 内 合 計	**203**	**278,210**	**60**	**83,060**	**29.6%**	**29.9%**
タイ	17	6,800	11	4,400	65%	65%
インドネシア	253	101,200	40	16,000	15.8%	15.8%
ベトナム	94	37,600	25	10,000	26.6%	26.6%
マレーシア	312	124,800	47	18,800	15.1%	15.1%
その他アジア諸国	5	2,000	2	800	40.0%	40.0%
海 外 合 計	**681**	**272,400**	**125**	**50,000**	**18.4%**	**18.4%**
総 合 計	**884**	**550,610**	**185**	**133,060**	**20.9%**	**24.2%**

2023年度 採択助成研究一覧

自然科学・技術 (1)

分野別（敬称略）

氏名	大学名	テーマ名
児玉 有紀	島根大学	クロレラと共生する繊毛虫ミドリゾウリムシを用いた環境に安全な新規水質浄化法の検討
林 文隆	信州大学	大型ナノシート積層制御によるナノろ過膜の機能開拓と層間イオンの電気化学的計測
李 沁潼	芝浦工業大学	低温硝化処理における温室効果ガスの抑制手法の開発
山村 寛	中央大学	水処理膜の4次元化に向けた光励起相分離技術の開発
山本 一樹	東京理科大学	オルガノシリカ系有機-無機ハイブリッド逆浸透膜における細孔径拡大による高透水化
平野 篤	産業技術総合研究所	浄水場におけるPFASの高効率除去を可能にするジルコニア粒子の開発
川口 康平	京都大学	選択的な定量法によるオゾン処理における過マンガン酸生成の解明
寺島 崇矢	京都大学	イオン性精密ナノドメインを生かした水処理ポリマー膜材料の創出

自然科学・技術 (2)

林 東範	京都大学	雨天時河川における耐性菌及び耐性遺伝子の実態調査と起源推定
原本 英司	山梨大学	ウィズコロナ時代の下水疫学調査：病原細菌および薬剤耐性菌への展開
UACIQUETE DORCAS	神戸大学	非フタル酸系可塑剤の水環境中残留濃度の解明と生態影響評価
黒田 啓介	富山県立大学	新興抗ウイルス薬の水環境中における挙動と生態リスクの評価
今 孝悦	東京海洋大学	海洋酸性化は二枚貝へのマイクロプラスチック汚染を助長するのか？
花本 征也	金沢大学	国内流域における陽イオン界面活性剤のホットスポット形成機構の解明
小枝 圭太	琉球大学	都市河川に進入するオオメジロザメの移動生態の解明 - 絶滅危惧種の保全に向けて
糠澤 桂	宮崎大学	新たな流域環境管理に向けた水文解析を活用した広域生物量推定モデルの開発
三小田 憲史	富山県立大学	蛍光成分を指標とした汚濁源の解析手法の開発
友尻 大幹	人間文化研究機構総合地球環境学研究所	鹿児島県与論島における赤土流出がサンゴ礁浅海域に生息する魚類の群集構造および多様性に及ぼす影響評価

人文・社会科学

野田 岳仁	法政大学	小規模水道組合とむらの自治―なぜ集落単位の水道組合を維持し続けるのか―
新田 将之	新潟大学	里山水域ネットワークの多面的機能保全に資する分散型マネジメントの社会実装研究
洪 昌極	東京理科大学	近代朝鮮における農・工業用水開発の結合と河川

特別テーマ（水を究める）

横田 泰之	国立研究開発法人 理化学研究所	局所ラマン分光を用いた電極界面に存在する極微量水分子の挙動解析
羽馬 哲也	東京大学	新規赤外分光法による極低温非晶質氷の表面物性の解明とその天文学的意義
柘植 雅士	北海道大学	氷における負電荷伝導機構の解明
杉本 宜昭	東京大学	水吸着層の局所分析を可能にする極低温原子間力顕微鏡の開発
新家 寛正	東北大学	氷/水界面で水から巨視的に分離する未知の水の構造多様性

萌芽的研究

太田 悠介	東京医科歯科大学	Toxin-antitoxinシステムに着目した病院排水における薬剤耐性拡散機構の解明
鳥居 将太郎	東京大学	飲用水の微生物学的水質を担保する高感度核酸検出技術の開発
奥野 将成	東京大学	非線形ラマン分光法による液体水における分子運動の長距離相関の解明
Boivin Sandrine	長崎大学	蛍光顕微鏡を用いた迅速藻類濃度計測技術の開発
春里 暁人	京都府立医科大学	ポリエチレンテレフタラート由来微細化マイクロプラスチックの免疫影響に関する研究
佐野 航季	信州大学	無機ナノ粒子を利用した水の機能化
佐賀 達矢	神戸大学	環境DNA-生物多様性観測データベース-食活動を通した身近な河川の生物多様性を体感する高校及び特別支援学校での生徒実験の開発
石井 良樹	北里大学	有機ナノ薄膜の水・イオン輸送特性を表現する分子記述子の横断的探索
端野 開都	金沢大学	能登海洋深層水を活用したイカの飼育技術の開発
下畑 隆明	福井県立大学	食中毒原因菌カンピロバクターのアメーバ細胞内寄生機構の解明
鎌倉 史帆	奈良女子大学	環境の塩分に応じた珪藻被殻の形態変化：被殻形態の塩分指標としての利用に向けて
Danchana Kaewta	岡山大学	Portable devices for water quality measurement

継続助成

関 貴一	弘前大学	固液界面におけるイオンの特異的吸着と，イオンよる生体分子自己組織化ナノ構造と水和構造の変化の解明
橋本 崇史	東京大学	浄水用ろ過膜の劣化や損傷がもたらす病原微生物阻止性能低下の迅速定量手法の開発研究
藪下 瑞帆	東北大学	結晶性メタロシリケート内のヘテロ原子位置制御による多価金属イオン捕捉能コントロール
越川 滋行	北海道大学	山岳地帯の水脈に依存して生息する希少な地下性昆虫の環境適応
田中 大介	東京医科歯科大学	水が心地良さを生み出す神経メカニズムの解明
川田 将平	関西大学	クリーンな機械システム構築を指向した水潤滑システムの社会実装へ向けた研究
瀬川 高弘	山梨大学	野生動物が利用するヌタ場を中心とした病原性微生物の包括的解明
後藤 和久	東京大学	琉球列島の広域比較マングローブ地形学―革新的技術を用いた高精度地形モデルの作成に基づく分布域変遷の実態解明―
高木 悠花	千葉大学	海洋プランクトン間の共生は地球温暖化へのレジリエンスを高めるか
濱本 亨	東北大学	水田土壌における微生物バイオマスによる硫黄シンク・ソース評価
石澤 秀紘	兵庫県立大学	微生物群集による水質浄化機能のボトムアップな理解
多田 悠人	京都大学	琵琶湖・淀川水系中に存在する有機態ヨウ素の特性と有機ヨウ素系消毒副生成物の生成特性
橋口 亜由未	岡山大学	長鎖アシル化ホモセリンラクトン類（AHLs）添加による硫酸還元型排水処理性能の向上とAHLsが作用する微生物（群）の推定
川瀬 成吾	滋賀県立琵琶湖博物館	標本×遺伝×形態データ解析で同定精度を向上させ、絶滅危惧種を守る -琵琶湖淀川水系産モロコ類を例に-
橋濱 史典	東京海洋大学	亜熱帯外洋域の有機物生産を支えるリンはどこからくるのか？-現場観測による水平・鉛直供給プロセスの解明-

ネットワーク構築助成

堀江 好文	神戸大学	水環境中におけるプラスチック添加剤の残留濃度調査・生態リスク評価に向けた国際研究ネットワークの構築
村上 道夫	大阪大学	水に関する価値の究明を基盤とした研究ネットワークの構築
丸山 史人	広島大学	住環境での水・熱・微生物を統合的に取り扱う学際的研究ネットワークの構築

国際会議発表

渡利 高大	長岡技術科学大学	A novel PVA/Fe/Starch gel-bead biocarrier for enhanced azo dye anaerobic treatment
飯田 碧	新潟大学	佐渡島における稀少な通し回遊性魚類カンキョウカジカの河川内分布と生態

国際会議開催

大塚 攻	広島大学	第15回国際カイアシ類学会/学生向けトレーニングコース
片山 浩之	東京大学	8th Food and Environmental Virology Conference (第８回食品・環境ウイルス学会)

タイ

athitaya changduang	Kasetsart University	Development of Fe-modified biochar beads as a catalyst for heterogenous Fenton-like removal of tiamulin from swine wastewater
Wandee Sirichokchatchawan	Chulalongkorn University	Dissemination and Prevalence of Multidrug-Resistant Escherichia coli in Natural Water Bodies Surrounding Swine Farms in Ratchaburi Province, Central Thailand: An Investigation into the Linkages with Livestock-Associated Wastewater
Peerawit Janta	Asian Institute of Technology	Assessment of Micro pollution Release from Garment Cement
Varintorn Tiparadee	King Mongkut's University of Technology Thonburi	Degradation of dimethyl phenyl carbinol by Fenton process using Fe3O4 magnetic nanoparticles catalyst
Miss Naruemon Phinyothanmakorn	Khon Kaen University	Development of powdered activated biochar from agricultural residue for minimization of dissolved organic matter (DOM) and disinfection by-products (DBPs) formation potential.
Noppadol Panchan	Mahanakorn University of Technology	Bio-Circular-Green Approach: Carbon Quantum Dots from Longan Peel for Sustainable Arsenic Sensing and Environmental Remediation in Water
Anh Tuan Ta	Thammasat University	Removal of chloride ions from wastewater through Friedel’s salt chemical precipitation method with combination of UV irradiation
Sirirat Sangkarak	Chulalongkorn University	Influence of iron oxide particles on the adsorptive removal of tetracycline from water by magnetic powdered activated carbon
Sitthakarn SITTHI	Chulalongkorn University	Optimizing pilot-scale UV-LED for Recirculating Aquaculture System (RAS)
Vitharuch YUTHAWONG	Kasetsart University	Relationship of land use and dissolved organic matter and DBP formation in Chao Praya River and treatment processes in Bangkhen Water Treatment Plant assessed by a highresolution mass spectrometry
Chotikoon Bunditboondee	Chulalongkorn University	Development of a mobile water supply system in emergencies situation: Case of chemical disinfection using performic acid (PFA)

インドネシア

Syed Saquib	Institut Teknologi Bandung, Bandung-Indonesia	Enhanced Textile Dyeing Wastewater Treatment and Biofouling Mitigation by Quorum Quenching Approach in Hollow Fiber Anaerobic Membrane Bioreactor (HF-AnMBR)
Brian Bramanto, Ph.D.	Institut Teknologi Bandung	Investigation on groundwater volume loss in Bandung, Indonesia, using geodetic/gravimetric observations
Riezqa Andika	University of Indonesi	Modeling of pressure retarded osmosis for hydroponic fertigation to improve agricultural water sustainability
Hanifrahmawan Sudibyo	Universitas Gadjah Mada	Valorization of phenols-rich industrial wastewater into syngas via aqueous-phase reforming employing a trifunctional hydrotalcite-supported transition metals catalyst
Rosetyati Retno Utami	National Research and Innovation Agency of Indonesia (BRIN)	Development of Passive Sampling as Active Pharmaceutical Ingredients (APIs) Monitoring Methods in Indonesia's Rivers
Tomy Abuzairi	Universitas Indonesia	RAWLo: Real-time Water monitoring based on LoRA sensor network
Hendri Sutrisno	Institut Teknologi Sepuluh Nopember	GEOPOLYMER FROM BAUXITE MINE TAILINGS (RED MUD) FOR MUNICIPAL SOLID WASTE LANDFILL LINER
Tika Erna Putri	Gadjah Mada Uniersity	Photovoltaic with concentrator for seawater distillation and independent electrical power at seaside area in Indonesia
Ruri Agung Wahyuono	Institut Teknologi Sepuluh Nopember	Novel CNT-doped Heterojunction ZnO/NiO for Rapid Simultaneous Photocatalytic Wastewater Process and Water Splitting
Moh. Mirza Nuryady	University of Muhammadiyah Malang	Investigating microplastics as transport vectors for Antibiotic resistant fecal bacteria in the Brantas River
Achmad Darul Rochman	Institut Teknologi Bandung	Groundwater modelling in the Bandung Basin: revisited
Muhammad Rizqy Septyandy	Universitas Mulawarman	Identifying Potential Rainwater Harvesting Suitable Land Selection using Artificial Intelligence Method in East Kutai Regency, East Kalimantan
LAILATUL QOMARIYAH	INSTITUT TEKNOLOGI SEPULUH NOPEMBER	Fabrication of ZnO/SiO2 Nanocomposite as A High-Performance Photocatalyst for Water Treatment from Organic Pollutant under Visible Light
Azzah Dyah Pramata	Institut Teknologi Sepuluh Nopember	Surface Modification of Fe3O4 Nanoparticles from Natural Iron Sand with Luminescence Carbon Dots for Visible Light Driven Photocatalytic Water Remediation
Hamdan Dwi Rizqi	Institut Teknologi Sepuluh Nopember	Synthesis of Biocomposite Super-adsorption with Immobilized Bacteria and Its Application for Biodegradation of Methyl Orange Dye on Batik Industrial Wastewater
Sipriyadi	University of Bengkulu	Bio-assisted phytoremediation using duckweed and indigenous bacteria for Mercury Removal of The Gold Mining Wastewater in Indonesia
Riani Muharomah	Sriwijaya University	Identification of Hydroclimatic Patterns and Trends in the New Capital of Indonesia
Dyah Wulandari Putri	Institut Teknologi Bandung	Performance Analysis of Black Soldier Fly Larvae as a Nature-Based Fecal Sludge Treatment Technology in Underserved Areas in Indonesia (Case Study: The Estuary of Citarum River Area, West Java
Nopa Dwi Maulidiany	Universitas Indonesia	Understanding Fatberg Composition and Formation in Jakarta Urban Sewer Networks

Dr. Eng. Lia Sadita	National Research and Innovation Agency (Indonesia)	Spatiotemporal analysis of surface water using machine learning methods with remote sensing data: A case study of West Java, Indonesia (2010 - 2020
Dani Puji Utomo	Universitas Diponegoro	Elimination of Persistent Organic Pharmaceutical Residues in Wastewater using Multifunctional PVDF Hybrid Membrane with Photocatalytic PDA/CuO-CeO2 Nanoflowers Active Layer
Kirana Yuniati Putri	National Research and Innovation Agency	Development of Triangular Gold Nanoplates for the Simultaneous Detection and Removal of Heavy Metal Ions in Water
Helmy Gani	Sekolah Tinggi Ilmu Kesehatan Makassar	Distribution of microplastics in fish in Indonesian waters using trend analysis test and spatial visualization
Fitri Handayani Hamid	HALU OLEO UNIVERSITY	Nanozyme of graphene oxide/ZnO/Chitosan as an artificial enzyme for pesticides-contaminated waterwaste treatment
Cindy Paloma	Andalas University	The Emergence of Collaborative Action in Lake Resource Management: The Case of Singkarak Lake, West Sumatera, Indonesia
Aina Ul Mardiati	Sepuluh Nopember Institute of Technology (ITS)	Beyond visual: Next-Generation Detection of Potentially Harmful Algae Distributed on Aquaculture using eDNA Metabarcoding
Qurnia Wulan Sari	Padjadjaran University	Development of a Bloom Index Algorithm for Eutrophication Assessment in the Northern Coast of the Java Sea
Mochamad Lutfi Firmansyah	Airlangga University	A Novel Approach Using Deep Eutectic Solvent for Solid-Phase Extractant Functionalization to Cleanse Wastewater of Chromium and Cadmium
Nurlina	Institut Teknologi Sepuluh Nopember	Improving Performance of Porous Geopolymer Membrane with Variation of Pore-Forming Agent and Reinforcement
Rhafiq Abdul Ghani	Lambung Mangkurat University	Novel Hollow Fiber Membranes Regenerated from Spent Bleaching Earth Waste applied for Peat Water Ultrafiltration in South Kalimantan-Indonesia
KAHARUDDIN	Institute of Science Technology and Health 'Aisyiyah Kendari	Portable adsorbent From magnetic materials synthesis (CMC-Fe3O4-Chitosan-TiO2) For Remove Wastewater (toxic metal ions and dye
Eka Djatnika Nugraha	The National Research and Innovation Agency of Indonesia (BRIN)	A Simple and Fast Method of Radium-226 And Radium -228 Measurement In Drinking Water By Using An Active Radon Monitor
Asniati Ningsi	IPB University	Patterns and Reproductive Cycles of Hard Corals (Acropora nobilis) Based on Biogeophysical and Oceanographic Characteristics in the Island Cluster of Sembilan District Sinjai.
Alan Handru	Institut Pertanian STIPER Yogyakarta (STIPER Agricultural University)	Management of water availability based on rainwater harvesting and smart precision irrigation technology in areas prone to drought in karst ecosystems - Indonesia
Romario Abdullah	Institut Teknologi Sepuluh Nopember	Characteristics and Performance of Composite Membrane with Natural Cellulose Based Filler as Dye Wastewater Treatment Membrane
Maharani Pertiwi Koentjoro	Universitas Brawijaya	Next-generation sequencing-based approach on abundance and diversity of antibiotic resistance bacterial to evaluate ecological risks of Brantas Waters, Indonesia
Muhammad Danie Al Malik	Diponegoro University	Revealing shallow and mesophotic eukaryotic diversity using environmental DNA at Karimunjawa national park, Indonesia

Arina Yuthi Apriyana	National Research and Innovation Agency (BRIN)	Surveillance of extended-spectrum beta-lactamases producing Escherichia coli (ESBL-Ec) in a heavily polluted Indonesian river: a glimpse of environmental antimicrobial resistance (AMR) dynamics in Indonesia
Riana Ayu Kusumadewi	University of Indonesia	Characteristics Analysis of Activated Carbon, Graphene, and Organic Waste Adsorbents in the Adsorption Desalination Process
Hardy Shuwanto	Prima Indonesia University	Defect Engineering of Zinc-Based Spinel Photocatalytic Semiconductors for Detoxification of Industrial Wastewater

ベトナム

Nguyen Cong Bang	Hanoi University of Science and Technology	Hydrogel-Based Immobilization of TiO2 Nanoparticles for Photocatalytic Degradation of Organic Dyes: Synthetic, Characterization and Application
Manh Cuong, Le	Hanoi University of Civil Engineering	Synthesis of g-C3N4@WO3 nanocomposites for dye adsorptive removal in water medium: equilibrium and kinetics studies
Vo Trung Duc	Hochiminh City University of Natural Resources and Environment	Atmospheric pressure plasma assisted removal of methylene blue in wastewater
Bang Le Trong	Institute of Environmental Science and Engineering, Hanoi University of Civil Engineering	Exploring Positive Modifications of Dissolved Air Flotation Process for Algae Removal: Enhancing Urban Lake Management and Resource Recovery
Vo Thi Kieu Anh	Instituter for Tropical Technology	Development of advanced photocatalyst materials based on porphyrin/CeO2 by self-assembly method for treatment of contaminated water.
Dinh Viet Cuong	Hanoi University of Civil Engineering	Unlocking phosphorus recovery potential with layered double hydroxide-decorated activated carbon electrodes in membrane capacitive deionization
Nguyen Thi Hai	VNU University of Science, Vietnam National University, Hanoi	Study on arsenic removal by rice husk hydrochar coated with iron
Tran Nam Anh	VNU University of Science, Vietnam National University	High-efficiency photo-Fenton membrane based on Ag@Fe3O4 core-shell nanoparticles for organic pollutants and pathogenic bacteria simultaneously degradation
HA DUC MANH	Ha Noi University of civil Engineering	Improve energy recovery from sludge and organic waste in Vietnam by different pretreatment methods prior to anaerobic digestion
Nguyen Thi Thu Trang	Vietnam Academy of Science and Technology	Removal of pharmaceuticals from aqueous environment by TiO2 photocatalyst immobilized on activated carbon from coffee by-products
Minh Thanh Le	Ho Chi Minh City University of Food Industry	Enhanced degradation of ciprofloxacin in aqueous solution by ozone in the presence of CeO2/diatomite heterogeneous catalyst
Nguyen Quoc Khuong Anh	Nguyen Tat Thanh University	Degradation of synthetic dyes by heterogeneous Fenton process using new FeWO4 nanoparticles

Minh VU XUAN	Instituter for Tropical Technology, Vietnam Academy of Science and Technology (ITT, VAST)	Fabrication of composite materials to treat water contaminated with heavy metal ions from natural materials (alginate) with industrial-agricultural by-products and the ability to reuse
VU MANH DUNG	VIETNAM MARITIME UNIVERSITY	Development of intelligent device based on tiny deep learning for detecting water pipe leakage
Le Tien Huu	Hue University	Reduction of phosphorus release from sediment in intensive shrimp aquaculture pond using sediment microbial fuel cells
NGUYEN PHUONG THAO	Ho Chi Minh City University of Technology (HCMUT)	Effect of different salinities on treatment performance and membrane fouling behavior of AO-MBR system
Le Phuong Chung	Institute of Biotechnology and Environment, Nha Trang University	Enrichment of microorganisms involved in ammonium nitrogen oxidation in Feammox anaerobic sludge
TRAN THI NHU HOA	University of Science, Vietnam National University, Ho Chi Minh City (VNUHCM)	Stacking-order reversed multilayer of MOF-nanoparticles for SERS detection for the detection of toxic chemicals in the environment
NGUYEN THANH BINH	Nong Lam University Ho Chi Minh City	A study of small–scale biochar based bioponic system towards circular–-sustainability in agriculture water use in Ho Chi Minh City, Vietnam
Nguyen Duc Thang	University of Science, Vietnam National University, Hanoi	Application of novel synthesized bamboo-biochar toward removal of Ciprofloxacine antibiotic and Lead heavy metal from aqueous environment: characterisitics and adsorption study
Linh Huynh Thanh Duong	Institute of Chemical Technology, VAST	Synthesis of graphene oxide-hydrotalcite/chitosan composite to enhance the adsorption of azo dye from contaminated wastewater
NGUYEN HOANG TRUNG HIEU	University of Science and Technology, The University of Danang	Study On Modification Of Polyurethane Foam By PVA Hydrogel For Application In Organic Wastewater Treatment
Ba Long Do	Institute of Chemical Technology	Green synthesis of nano-silver/hydroxyapatite-chitosan composite aerogel as a robust active and recyclable catalyst toward hydrogenation of nitrophenol in water
NGUYEN THIEN PHUONG THAO	VNU University of Science	Retrieval of dissolved organic carbon concentration in inland lakes in Northern Vietnam using hyperspectral remote sensing data
Le Thi Bao Ngoc	Institute of Chemical Technology - Vietnam Academy of Science and Technology	Development of microbial communities for efficient degradation of high-concentration para-nitrophenol

マレーシア

MUHAMMAD AZRUL BIN ZABIDI	UNIVERSITI SAINS MALAYSIA	Characterization Of Alum Sludge Discharged from Sungai Dua Water Treatment Plant into Merbau Kudong River, Penang , Malaysia
Chin Man Yee	University of Nottingham Malaysia	Use of ozone to mitigate microplastic pollution in rivers
Muhammad Noor Hazwan bin Jusoh	Curtin University Malaysia	Isolation of Urea-Resistant Bacteria for Bioremediation of Contaminated River in Bintulu, Malaysia
Shuhada Atika binti Idrus Saidi	University of Technology Malaysia (Universiti Teknologi Malaysia)	Pharmaceutical Wastewater Treatment using Green Emulsion Liquid Membrane
Hazwan Ghazali	Universiti Sains Malaysia	Real-Time UAV-Based Water Quality Monitoring System
NUR SAFWATI MOHD NOR	UNIVERSITI TEKNOLOGI MALAYSIA (UTM)	Design and Development of in Situ Automatic Water Quality Monitoring System: A Data Validation and Fault Detection
Melvin Gan Jet Hong	Universiti Malaysia Sabah	Hydrothermally carbonized waste sawdust for solar vapor generation towards seawater desalination
NUR IZZATI HANNANI BINTI HAZRIL	UNIVERSITI TEKNOLOGI MALAYSIA	Discovering the effect of different iron oxides precursors in designing dendrimeric fibrous silica-iron catalysts for photoredox of heavy metal and organic pollutants
Mohd Amirul Bin Mahamud	Universiti Sains Malaysia	Impact of Land Use Change on Water Quality in the Muda River Basin, Malaysia
Nor Khairun Bariah Binti Kamaruddin	Institute of nanoscience and nanotechnology (ION2) , UPM	Development of AChE/ZIF-8 Biocomposites as Highly Selective and Sensitive Sensors for Monitoring Pesticide in Water Samples
Nor Erniza Mohammad Rozali	Universiti Teknologi PETRONAS	Water-carbon nexus study for optimal design of water system using Automated Targeting Modeling
SITI FATIMAH SAIPUDDIN	Universiti Teknologi MARA	Assessment of Radon-Related Health Risk in Rural Malaysia: A Study of Well Water Contamination
Fariza Hanim binti Suhailin	Universiti Teknologi Malaysia	The fabrication of a green-based filter from polymer polypyrrole-reduced graphene oxide foam (PPy-rGOF) for removal of microplastics in water
SITI HAJAR BINTI ALIAS	UNIVERSITI TEKNOLOGI MARA (UiTM) CAWANGAN NEGERI SEMBILAN	Boron and Phosphorous Co-Doped Graphitic Carbon Nitride for Enhanced the Degradation of Tetracycline Antibiotics from Wastewater
Nur Ain Atiqah Jamaluddin	Universiti Malaysia Kelantan	Recovery of Nitrogen-Containing Pollutants in Wastewater Associated with Electroactive Bacteria Water Treatment
Ahmad Qushairi Bin Mohamad	Universiti Teknologi Malaysia	Studies of Water Pollution with Carbon-Based Nano Adsorbents: Theoretical Approach
CHE AZURAHANIM CHE ABDULLAH	Universiti Putra Malaysia	Biogenic Gold Nanoparticles-Titanium Dioxide Nanocomposites from Agricultural Waste for the Synergistic Ecofriendly Detection and Removal of Contaminants from Food Industry Wastewater
Chai Jian Tay	Universiti Malaysia Pahang	Sustainable Tropical Lake Management in Response to Climate Change

Bronwyn Lok	Universiti Sains Malaysia	Wastewater Surveillance of Candida auris in the Hospitals of Penang, Malaysia Using real-time PCR-based Identification
Kong Sieng Huat	University of Technology Sarawak	Microwave pyrolysis of palm kernel shell to derive activated biochar for the treatment and recovery of the recyclable nutrients in palm oil mill effluent
Syed Fariq Fathullah Bin Syed Yaacob	Universiti Sains Malaysia	Detoxification of sulfamethoxazole and ciprofloxacin antibiotic waste pollutants from aqueous media via modified sporopollenin polymer inclusion membranes
Nur Azalina Suzianti Feisal	Mahsa University	Mitigating Heavy Metal Contamination in the River Water using Freshwater Green Microalgae Innovative Approach
Nur Izzati Mohd Noh	Universiti Teknologi Malaysia	Biorefinery of flue gas wastewater for production of bioplastic by thermophilic Gleocapsa sp.
KAVIRAJAA PANDIAN SAMBASEVAM	UNIVERSITI TEKNOLOGI MARA	DUAL MONOMER BASED MOLECULARLY IMPRINTED POLYMER FOR SENSITIVE AND SELECTIVE DETECTION OF CYPERMETHRIN FROM WATER SAMPLES
SAKHIAH BINTI ABDUL KUDUS	Universiti Teknologi MARA	Advancing Water Quality Management in Malaysia: Implementation of an IoT-based Smart Water Quality Monitoring System
Sharul Nizam Hasan	Universiti Teknologi Malaysia	Investigation of the transport behaviour of the Non-Reactive Contaminant Transport in a Groundwater using Lagrangian-Based Particle Tracking Simulator
Rathi Devi Nair a/p Gunasegavan	University Putra Malaysia	Development of Biogenic Nanoparticles from Red Dragon Fruit Peels for Potential Textile Industry Wastewater Remediation
MOHAMAD ANUAR KAMARUDDIN	UNIVERSITI SAINS MALAYSIA	DEVELOPMENT OF MAIFANITE PERFORATED CARTRIDGE FILTER TO DEMINERALIZE HEAVY METALS AND ORGANICS FROM RAW WATER
Farah Liyana Bohari	University Technology MARA Negeri Sembilan	Intercalation of MCPA herbicide into Ca/Al layered double hydroxide (LDH-MCPA) as a potential green herbicide to improve the water ecosystem
Aemi Syazwani binti Abdul Keyon	Universiti Teknologi Malaysia	Development of Humic Acid-functionalized Magnetic Bioadsorbent for Rapid Removal of Biological Warfare Saxitoxin from Malaysia Water Body and its Sustainability Assessment
Muhammad Rabie Bin Omar	Universiti Sains Malaysia	Revolutionizing Groundwater Pollution Modeling with Monte Carlo Simulation: A Case Study on Pollutant Particles Transport in Steady Groundwater Flow
FARAH HANIM BINTI AB HAMID	UNIVERSITI TEKNOLOGI MARA	Approach of freeze crystallisation in the removal of heavy metal from lake water of former mine site
Norhidayah Ideris	Universiti Teknologi MARA	Suppression of the coffee-ring effect (CRE) in membrane-protein dot blotting by adapting solute addition for pathogens detection in drinking water
Siti Munirah Sidik (Dr.)	Universiti Pendidikan Sultan Idris	Development of Mesostructured Titania Nanoparticles and Graphitic Carbon Nitride Hybrid Nanocomposite for Solar Photodegradation of Dyes from Textile Wastewater
Cheah Yi Tong	Universiti Sains Malaysia	Fungal/bacterial Bio-flocculant For the Harvesting of Microalgae and Nutrient Recovery from Nitrogen and Phoshpate Rich Wastewater
Nur Hafizah binti Ab Hamid	Universiti Teknologi Malaysia	From Waste to Wealth: Developing Sustainable Activated Carbon Derived from Sludge to Treat Oleochemicals Wastewater

Adibah Abu Bakar	Sultan Idris Education University	Detection of the habitat shifts of endangered Asian Arowana caused by climate change in the Bukit Merah Reservoir (BMR) using environmental DNA (eDNA) signals
JUAN BIN MATMIN	UNIVERSITI TEKNOLOGI MALAYSIA (UTM)	Sunlight induced Ag/SnS2/Starch superabsorbent sponge for synchronous removal of organic dye and oily wastes in water
Wan Mohd Afiq Wan Mohd Khalik	Universiti Malaysia Terengganu	Harnessing the potential of aloe vera waste: A study on the removal efficiency of antidepressant drugs in waters through biomass-derived magnetic activated carbons
AZIMAH BINTI ABD RAHMAN	UNIVERSITI SAINS MALAYSIA	Influence of biotic and abiotic factors on population distribution of Pteroptyx tener in mangrove forest areas at Kuala Sepetang, Perak, Malaysia
Shazlyn Milleana binti Shaharudin	Sultan Idris Education University	Developing a Parametric Flood Index for Malaysian Flood Insurance Policies
Nurhidayu Binti AL-SAARI	International Islamic University Malaysia (IIUM)	Metagenomic surveillance of antibiotic resistance genes (ARG) and microbial ecology in seabass aquaculture environment
DR. NORHIDAYAH BINTI ABDUL MANAN	INSTITUTE OF TROPICAL AQUACULTURE AND FISHERIES, UNIVERSITI MALAYSIA TERENGGANU	Development of bio box-filter (BBF) prototype with inclusion of probiotic bacteria in sustaining a good water quality for Penaeus monodon cultured in RAS.
Lai Li Sze	UCSI University	Heavy Metal Removal using Adsorptive Membrane with Triply Periodic Minimal Surface Structure for Langat River, Selangor
Nur Nabihah Yusof	Universiti Sains Malaysia	Green synthesis-mediated functionalized iron nanoparticles assisted in microplastic removal in water
Henry Foo Chee Yew	Curtin University Malaysia	Mannich-modified tannin-based biocoagulant extracted from coconut mesocarp for desilting at Baram river
Tan Inn Shi	Curtin University Malaysia	Designing smart floating wetland structure with ozonolysis for treating urban wastewater at Miri River

その他国

Saruulzaya Adiya	Institute of Geography and Geoecology, Mongolian Academy of Sciences	Long-term changes of surface water in the Munkhkhairkhain mountain with glacier and permafrost, Mongolia
Yunus Ali Pulpadan	Indian Institute of Science Education and Research Mohali	A novel framework for water quality prediction based on socio-economic indicators, satellite imaging and machine learning

２０２３年度までの研究助成件数および助成金額累計

（単位：千円）

助成区分				年度	1997～2017年度		2018年度		2019年		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		累計（～2023年度）	
					件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
研究助成事業	国内	水・環境	自然科学	萌芽	224	89,380	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	224	89,380
				一般	276	241,350	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	276	241,350
			社会科学	萌芽	53	17,050	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	53	17,050
				一般	44	23,050	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	44	23,050
			自然科学-1		59	60,050	18	17,840	16	15,550	15	14,590	14	14,000	11	14,930	8	11,200	141	148,160
			自然科学-2		73	72,750	16	15,467	17	16,547	19	18,570	18	17,338	15	19,324	10	13,800	168	173,796
			人文･社会科学		23	15,284	7	4,736	8	5,100	7	4,630	5	3,256	7	4,988	3	3,000	60	40,994
			萌芽研究		45	21,270	16	7,999	17	8,436	12	5,971	12	5,980	26	22,120	12	11,900	140	83,676
			継続研究		25	23,895	10	9,160	12	11,700	13	11,641	15	13,632	15	17,537	15	18,660	105	106,225
			水を究める		16	18,125	3	3,000	1	1,000	3	3,000	2	2,000	4	6,000	5	7,500	34	40,625
		国際会議助成	国際会議発表		76	15,019	2	400	2	350	0	0	0	0	0	0	2	1,500	82	17,269
			国際会議開催		51	28,145	2	1,000	2	1,500	2	1,500	0	0	1	248	2	500	60	32,893
		ネットワーク構築助成			—	—	—	—	—	—	3	15,000	4	20,000	3	15,000	3	15,000	13	65,000
		小　計（国内）			965	625,368	74	59,602	75	60,183	74	74,902	70	76,206	82	100,147	60	83,060	1,400	1,079,468
	海外	研究助成	自然科学		73	24,267	8	2,345	37	14,523	48	19,939	53	21,004	73	29,200	125	50,000	417	161,278
			旧KARG		57	18,620	20	6,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	77	24,620
		20周年記念ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ			4	12,083	—	4,618	—	7,421	—	5,523	—	—	—	—	—	—	4	29,645
		国際会議	国際会議発表		3	550	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	550
		小　計（海外）			137	55,520	28	12,963	37	21,944	48	25,462	53	21,004	73	29,200	125	50,000	501	216,093
	合計（研究助成事業）				1,102	680,888	102	72,565	112	82,127	122	100,364	123	97,210	155	129,347	185	133,060	1,901	1,295,561
顕彰事業	クリタ水・環境科学研究優秀賞				64	3,200	7	350	6	300	6	300	4	200	3	150	3	150	93	4,650
	「クリタ賞」表彰				240	23,900	14	2,000	22	2,000	17	2,600	19	2,600	20	2,600	20	2,600	352	38,300
国際交流	CREEW（Nepal）支援				—	14,500	—	1,300		1,300	—	1,300	—	1,300	—	1,300	—	1,300	—	22,300
	AIT奨学金支給				—	6,407	—	9,000		10,000	—	10,000	—	10,000	—	5,444	—	—	—	50,851
助成件数／助成金　合計					1,406	728,895	123	85,215	140	95,727	145	114,564	146	111,310	178	138,841	208	137,110	2,346	1,411,662

２０２３年度顕彰事業受賞者一覧

１．日本水環境学会　２０２３年度受賞者

１）年会優秀発表賞「クリタ賞」

氏名	所属	発表テーマ
阿久戸 太陽	北海道大学大学院	エネルギー効率からみた真空紫外線ベースの促進酸化／還元処理の最適化
安藤 大将	北海道大学大学院	毒性を誘発する農薬ジスルホトンの塩素処理生成物：LC を用いた分画と精密質量分析による推定
五十嵐 智哉	長岡技術科学大学大学院	下水処理 MBR から分離培養したゲル状バイオフィルム形成細菌 Novosphingobium sp. IK01 株のゲル生成機構の解析
石崎 悠太	東京大学大学院	生物学的浄水処理における完全アンモニア酸化細菌の増殖特性と競合の DNA-SIP 法を用いた評価
石村 菜穂子	北里大学大学院	病院排水および下水処理場サンプルにおけるカルバペネム・チゲサイクリン両剤耐性の実態解明
桑井 孝祐	大阪大学大学院]	ミジンコウキクサ Wolffi a globosa の表層細菌群集の系統分類学的特徴とそのバイオマス生産との関係
小山 寛貴	東北大学大学院	エンベロープウイルス集団の消毒感受性に関する研究
佐野 航士	北海道大学大学院	北海道茨戸湖におけるパッシブサンプリング法を用いた内部リン溶出速度の推定
島田 彩未	東洋大学大学院	包括固定化による 1，4-ジオキサン分解活性の活性化
染谷 果穂	東洋大学大学院	アナモックス担体の活性と色彩変化
髙井 麻帆	北海道大学大学院	マルチオミクス解析による好気的 p-トルイル酸分解機構の解明
竹内 智香	北海道大学大学院	NF/RO 膜ろ過濃縮水を念頭に置いた真空紫外線処理を用いた PFOS の促進還元処理
前田 稜太	東北大学大学院	廃水処理過程から発生する温室効果ガス削減のための新規 N2O 除去プロセスの開発
桝田 詩織	京都大学大学院	熱分解 GC/MS を用いた沖縄県中部の沿岸におけるナノプラスチックの生物濃縮調査
横山 律	山形大学大学院	下水処理水栽培米を給餌された肥育豚からの大腸菌分離株の薬剤耐性

２）年会優秀発表賞受賞者国際会議発表助成（クリタ賞国際会議発表助成）

山形大学　　西山 正晃

２．環境科学会　2022 年度受賞者

１）高校活動奨励賞（クリタ活動賞）

秋田県立新屋高等学校　　阿部 大輔

奈良学園登美ヶ丘高等学校　　村山 翔大

２）博士後期課程学生研究奨励賞(クリタ研究賞)

大阪大学大学院　　森口 暢人

横浜国立大学大学院　　李 京

*環境科学会での 2023 年度受賞者は 2024 年 4 月 18 日現在、未発表。

理事及び監事並びに評議員の報酬等の基準について（公表）

理事及び監事並びに評議員の報酬等の基準については、「定款　第３５条および第２０条」において下記のとおり定め、一般の閲覧に供するものとする。

記

１．定款上の規定（理事及び監事について）

（報酬等）

第３５条　理事及び監事は無報酬とする。ただし、常勤の理事には、評議員会において別に定める総額の範囲内で、報酬等として支給することができる。

２　理事及び監事には、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

２．定款上の規定（評議員について）

（報酬等）

第２０条　評議員は、無報酬とする。

２　評議員には、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

３．定款上の規定（一般の閲覧について）

第１２条第３項　第１項の規定により承認を受けた書類のほか、次の書類を主たる事務所に５年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

４．報酬等の基準について

当財団は設立以来、すべての理事、監事、および評議員に対し無報酬としている。

公益財団法人

クリタ水・環境科学振興財団

貸借対照表

公益財団法人 クリタ水・環境科学振興財団

2024年(令和 6年) 3月31日現在　　(単位：円)

科　　目	当年度 (2023/4/1-2024/3/31)	前年度 (2022/4/1-2023/3/31)	増　減
Ⅰ. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	18,875,766	30,166,094	△ 11,290,328
流動資産合計	18,875,766	30,166,094	△ 11,290,328
2.固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	214,895,448	145,322,210	69,573,238
有価証券	2,724,582,973	2,581,496,601	143,086,372
基本財産合計	2,939,478,421	2,726,818,811	212,659,610
(2) 特定資産			
研究助成事業積立資産	146,921,935	67,921,935	79,000,000
特定資産合計	146,921,935	67,921,935	79,000,000
固定資産合計	3,086,400,356	2,794,740,746	291,659,610
資産合計	3,105,276,122	2,824,906,840	280,369,282
Ⅱ. 負債の部			
1.流動負債	53,265	1,508,727	△ 1,455,462
2.固定負債	0	0	0
負債合計	53,265	1,508,727	△ 1,455,462
Ⅱ. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	3,086,400,356	2,794,740,746	291,659,610
指定正味財産合計	3,086,400,356	2,794,740,746	291,659,610
(うち基本財産への充当額)	(2,939,478,421)	(2,726,818,811)	-
(うち特定資産への充当額)	(146,921,935)	(67,921,935)	-
2. 一般正味財産	18,822,501	28,657,367	△ 9,834,866
正味財産合計	3,105,222,857	2,823,398,113	281,824,744
負債及び正味財産合計	3,105,276,122	2,824,906,840	280,369,282

正味財産増減計算書

公益財団法人 クリタ水・環境科学振興財団

自 2023年(令和 5年) 4月 1日　至 2024年(令和 6年) 3月31日　(単位：円)

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
I. 一般正味財産増減の部			
〔経常増減の部〕			
〔経常収益〕			
【基本財産運用益】			
基本財産受取利息	37,816,967	29,738,868	8,078,099
基本財産受取配当金	22,898,700	21,202,500	1,696,200
【受取寄付金】			
運用財産寄附金	89,100,000	89,000,000	100,000
受取寄附金振替額	21,000,000	23,900,207	△ 2,900,207
【雑収益】			
運用財産受取利息	1,823,889	781,001	1,042,888
受取利息	286	148	138
為替差益	6,587,136	3,845,414	2,741,722
経常収益計	179,226,978	168,468,138	10,758,840
〔経常費用〕			
【事業費】			
人件費	12,189,345	16,463,738	△ 4,274,393
旅費交通費	9,207,298	4,592,301	4,614,997
通信運搬費	462,738	885,095	△ 422,357
消耗品費	30,042	77,056	△ 47,014
印刷製本費	158,158	707,269	△ 549,111
賃借料	3,069,528	3,022,076	47,452
保険料	12,980	0	12,980
諸謝金	5,951,266	5,620,000	331,266
租税公課	0	170,557	△ 170,557
支払助成金	138,781,014	141,077,495	△ 2,296,481
委託費	935,716	1,699,361	△ 763,645
手数料(事業)	899,473	524,760	374,713
会議費(事業)	3,866,860	382,478	3,484,382
雑費	179,476	16,522	162,954
事業費合計	175,743,894	175,238,708	505,186
【管理費】			
人件費	3,046,777	1,231,864	1,814,913
福利厚生費	72,000	0	72,000
会議費	2,045,273	1,847,310	197,963
旅費交通費	2,310,901	1,131,614	1,179,287
通信運搬費	522,397	1,066,549	△ 544,152
消耗什器備品費	0	188,000	△ 188,000
消耗品費	26,578	81,466	△ 54,888
印刷製本費	752,640	789,800	△ 37,160
水道光熱費	64,524	64,524	0
賃借料	2,942,392	3,022,077	△ 79,685
諸謝金	23,411	0	23,411
租税公課	9,800	439,277	△ 429,477
手数料(管理)	183,222	16,087	167,135
図書購入費	57,900	58,800	△ 900
業務委託費	1,105,843	411,415	694,428
会費	132,000	132,000	0
雑費	22,292	80,912	△ 58,620
管理費合計	13,317,950	10,561,695	2,756,255
経常費用計	189,061,844	185,800,403	3,261,441
当期経常増減額	△ 9,834,866	△ 17,332,265	7,497,399
税引前当期一般正味財産増減額	△ 9,834,866	△ 17,332,265	7,497,399
当期一般正味財産増減額	△ 9,834,866	△ 17,332,265	7,497,399
一般正味財産期首残高	28,657,367	45,989,632	△ 17,332,265
一般正味財産期末残高	18,822,501	28,657,367	△ 9,834,866

正味財産増減計算書

公益財団法人 クリタ水・環境科学振興財団

自 2023年(令和 5年) 4月 1日　至 2024年(令和 6年) 3月31日　(単位：円)

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
II. 指定正味財産増減の部			
【基本財産】			
基本財産受取利息	1,086	1,216	△ 130
有価証券買替損益	△ 427,848	△ 266,788	△ 161,060
投資有価証券評価損益等	213,086,372	399,771,245	△ 186,684,873
基本財産運用益計	212,659,610	399,505,673	△ 186,846,063
【特定資産】			
特定資産受取利息	0	658,335	△ 658,335
受取寄附金	100,000,000	0	100,000,000
特定資産評価損益等	0	7,453,814	△ 7,453,814
一般正味財産への振替額	△ 21,000,000	△ 23,900,207	2,900,207
特定資産運用益計	79,000,000	△ 15,788,058	94,788,058
当期指定正味財産増減額	291,659,610	383,717,615	△ 92,058,005
指定正味財産期首残高	2,794,740,746	2,411,023,131	383,717,615
指定正味財産期末残高	3,086,400,356	2,794,740,746	291,659,610
III. 正味財産期末残高	3,105,222,857	2,823,398,113	281,824,744

正味財産増減計算書内訳表

公益財団法人 クリタ水・環境科学振興財団

自 2023年(令和5年) 4月 1日　至 2024年(令和6年) 3月31日　（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計					法人会計	合　計
	研究助成事業	顕彰事業	国際交流支援事業	共通	小　計		
〔一般正味財産増減の部〕							
〔経常増減の部〕							
〔経常収益〕							
【基本財産運用益】							
基本財産受取利息	0	0	0	37,816,967	37,816,967	0	37,816,967
基本財産受取配当金	0	0	0	22,898,700	22,898,700	0	22,898,700
【受取寄付金】					0		
運用財産寄附金	0	0	0	71,280,000	71,280,000	17,820,000	89,100,000
受取寄附金振替額	21,000,000	0	0	0	21,000,000	0	21,000,000
【雑収益】					0		
運用財産受取利息	0	0	0	1,823,889	1,823,889	0	1,823,889
受取利息	0	0	0	286	286	0	286
為替差益	△ 187,706	0	0	6,774,842	6,587,136	0	6,587,136
経常収益計	20,812,294	0	0	140,594,684	161,406,978	17,820,000	179,226,978
〔経常費用〕							
【事業費】							
人件費	11,799,345	0	390,000	0	12,189,345	0	12,189,345
旅費交通費	8,779,658	427,640	0	0	9,207,298	0	9,207,298
通信運搬費	423,940	0	0	38,798	462,738	0	462,738
消耗品費	30,042	0	0	0	30,042	0	30,042
印刷製本費	158,158	0	0	0	158,158	0	158,158
賃借料	99,806	0	0	2,969,722	3,069,528	0	3,069,528
保険料	12,980	0	0	0	12,980	0	12,980
諸謝金	5,951,266	0	0	0	5,951,266	0	5,951,266
租税公課	0	0	0	0	0	0	0
支払助成金	134,840,505	2,000,000	1,940,509	0	138,781,014	0	138,781,014
委託費	767,946	0	0	167,770	935,716	0	935,716
手数料(事業)	879,873	0	19,600	0	899,473	0	899,473
会議費(事業)	3,866,860	0	0	0	3,866,860	0	3,866,860
雑費	179,476	0	0	0	179,476	0	179,476
【管理費】							
人件費	0	0	0	0	0	3,046,777	3,046,777
福利厚生費	0	0	0	0	0	72,000	72,000
会議費	0	0	0	0	0	2,045,273	2,045,273
旅費交通費	0	0	0	0	0	2,310,901	2,310,901
通信運搬費	0	0	0	0	0	522,397	522,397
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	26,578	26,578
印刷製本費	0	0	0	0	0	752,640	752,640
水道光熱費	0	0	0	0	0	64,524	64,524
賃借料	0	0	0	0	0	2,942,392	2,942,392
諸謝金	0	0	0	0	0	23,411	23,411
租税公課	0	0	0	0	0	9,800	9,800
手数料(管理)	0	0	0	0	0	183,222	183,222
図書購入費	0	0	0	0	0	57,900	57,900
業務委託費	0	0	0	0	0	1,105,843	1,105,843
会費	0	0	0	0	0	132,000	132,000
雑費	0	0	0	0	0	22,292	22,292
経常費用計	167,789,855	2,427,640	2,350,109	3,176,290	175,743,894	13,317,950	189,061,844
当期経常増減額	△ 146,977,561	△ 2,427,640	△ 2,350,109	137,418,394	△ 14,336,916	4,502,050	△ 9,834,866
税引前当期一般正味財産増減額	△ 146,977,561	△ 2,427,640	△ 2,350,109	137,418,394	△ 14,336,916	4,502,050	△ 9,834,866
当期一般正味財産増減額	△ 146,977,561	△ 2,427,640	△ 2,350,109	137,418,394	△ 14,336,916	4,502,050	△ 9,834,866
一般正味財産期首残高	△ 1,087,717,047	△ 27,217,179	△ 48,167,358	1,138,703,392	△ 24,398,192	53,055,559	28,657,367
一般正味財産期末残高	△ 1,234,694,608	△ 29,644,819	△ 50,517,467	1,276,121,786	△ 38,735,108	57,557,609	18,822,501
〔指定正味財産増減の部〕							
【基本財産】							
基本財産受取利息	0	0	0	1,086	1,086	0	1,086
有価証券買替損益	0	0	0	△ 427,848	△ 427,848	0	△ 427,848
投資有価証券評価損益	0	0	0	213,086,372	213,086,372	0	213,086,372
基本財産運用益計	0	0	0	212,659,610	212,659,610	0	212,659,610
【特定資産】							
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0
受取寄附金	100,000,000	0	0	0	100,000,000	0	100,000,000
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 21,000,000	0	0	0	△ 21,000,000	0	△ 21,000,000
特定資産運用益計	79,000,000	0	0	0	79,000,000	0	79,000,000
当期指定正味財産増減額	79,000,000	0	0	212,659,610	291,659,610	0	291,659,610
指定正味財産期首残高	67,921,935	0	0	2,726,818,811	2,794,740,746	0	2,794,740,746
指定正味財産期末残高	146,921,935	0	0	2,939,478,421	3,086,400,356	0	3,086,400,356
正味財産期末残高	△ 1,087,772,673	△ 29,644,819	△ 50,517,467	4,215,600,207	3,047,665,248	57,557,609	3,105,222,857

財産目録
2024年（令和6年） 3月31日現在

公益財団法人 クリタ水・環境科学振興財団

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	金額
（流動資産）			
	現金		10,000
	普通預金	三菱UFJ信託銀行ほか	18,865,766
流動資産合計			18,875,766
（固定資産）			
基本財産			
	普通預金	三菱UFJ信託銀行ほか	214,895,448
	投資有価証券	栗田工業株式他	2,724,582,973
特定資産			
	研究助成事業費積立資産	三菱UFJ信託銀行	146,921,935
その他固定資産			
固定資産合計			3,086,400,356
資金諸口			693,243
非資金諸口			△ 693,243
資産合計			3,105,276,122
（流動負債）			
	未払金		53,265
流動負債合計			53,265
（固定負債）			
負債合計			53,265
正味財産			3,105,222,857

２０２４年（令和６年）３月期 財務諸表に対する注記

公益財団法人 クリタ水・環境科学振興財団

１．継続事業の前提

該当なし。

２.重要な会計方針

(1)　有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券：債権金額と異なる価格で取得した債券で、当該差額が金利の調整と認められるものは、償却原価法による。
その他の有価証券（時価の有るもの）：決算日の市場価格等に基づく時価法による。

(2)　棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当資産なし。

(3)　固定資産の減価償却の方法
該当資産なし。

(4)　引当金の計上基準
引当金なし。退職給付引当金は、発生が見込まれる時点で計上する。

(5)　リース取引の処理方法
通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理による。

(6)　消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式による。

３．会計方針の変更

変更なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金(基)	145,322,210	70,001,086	△ 427,848	214,895,448
投資有価証券	2,581,496,601	446,802,972	△ 303,716,600	2,724,582,973
小　　計	2,726,818,811	516,804,058	△ 304,144,448	2,939,478,421
特定資産				
研究助成事業費積立資産	67,921,935	100,000,000	△ 21,000,000	146,921,935
小　　計	67,921,935	100,000,000	△ 21,000,000	146,921,935
合　　計	2,794,740,746	616,804,058	△ 325,144,448	3,086,400,356

（注）前期末：２０２３年３月３１日　　当期末：２０２４年３月３１日
普通預金は預り金を含む

５.基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
定期預金(基)	214,895,448	(214,895,448)	－	－
投資有価証券	2,724,582,973	(2,724,582,973)	－	－
小　　計	2,939,478,421	(2,939,478,421)	－	－
特定資産				
研究助成事業費積立資産	146,921,935	(146,921,935)	－	－
小　　計	146,921,935	(146,921,935)	－	－
合　　計	3,086,400,356	(3,086,400,356)	－	－

６.固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし。

７．満期保有目的債権の内訳並びに、帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし。

８．指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし。

９．重要な後発事象

該当なし。

附 属 明 細 書

2024年(令和6年)3月31日

公益財団法人 クリタ水・環境科学振興財団

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記 「5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳」 に記載したので省略する。

2. 引当金の明細

財務諸表に対する注記 「2. (4)引当金の計上基準」 に記載したので省略する。
ただし、引当金はない。

3. その他

上記1. 2. の他、貸借対照表及び正味財産計算書の内容を補足する重要な事項については、財務諸表に対する注記に記載したので省略する。

水環境財　第202404号

2023年度監査報告書

2024年　4月　　日

公益財団法人 クリタ 水・環境科学振興財団
理事長　　中井 稔之 殿

公益財団法人 クリタ水・環境科学振興財団

監事　　梶川　　融　㊞

監事　　新井 孝輔　㊞

私たちは、2023年4月1日から2024年3月31日までの2023年度における、「公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団」の会計および業務の監査を行ったので、下記のとおり報告する。

記

1. 監査方法の概要

（1） 業務監査については、理事会に出席し、業務報告の聴取、審議事項の確認の他、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、適切な業務執行が行われているかどうかを検討した。

（2） 会計監査については、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、月次決算、期末決算書類等の正確性を検討した。

2. 監査意見

（1） 事業監査

理事会に出席し、事業の計画および実績を基に事業報告書を監査した結果、各報告内容は事業を正しく表していると認める。各事業推進においても積極的な事業活動が認められ、真摯な運営がなされている。

当期の主事業である研究助成に対する応募件数は884件と、多くの研究助成のテーマ申請が行われ、本事業活動が水・環境分野の研究者に広く知られ、活発な応募が行われている。公正にして厳正な選考の結果、185件に助成金（133，060千円）が交付された。

また、平成19年度に創設された「クリタ水・環境科学研究優秀賞」は、3名が選出された。本優秀賞の授与とともに、研究助成金贈呈式の当日に研究成果講演が行われ、専門的・先駆的な水・環境の情報普及に努めている。

また、顕彰事業として（公社）日本水環境学会の年会優秀発表賞「クリタ賞」に関しても、平成11年度の創設より継続実施し、多くの研究者に認知され、若手研究者の励みとなっている。また環境科学会に対しては、高校活動奨励賞「クリタ活動賞」、博士後期課程学生研究奨励賞「クリタ研究賞」を拠出している。

他方、水環境問題が深刻化しているアジアの国に目を向け、その水環境問題の改善に貢献することを目的として、ネパールの水環境分野の調査研究に携わるNPO法人CREEW（Center of Research for Environment Energy and Water）の自主運営を目指した取り組みに対する支援を継続している。

（2） 会計、財務監査

貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、固定資産の状況および財務諸表に対する注記は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支および財産の状況を正しく示しているものと認める。また、会計処理は最新の公益会計基準に準じて、確実に会計業務が進められていることを確認した。

（3） 情報公開への対応

新公益法人制度および定款等内部規定に基づき、直近の事業計画、実績報告および収支予算書、決算報告書等の最新情報、公表資料等をホームページに掲載し、また、助成対象研究成果についても開示要請に対し、ホームページを介して積極的に対応している。

（4） 理事の職務執行状況

理事の職務遂行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上